

日本共産党

磯城郡議員団だより

芝 和也 Eメール info@k-shiba.jp
 川西町結崎 862-7 0745-43-2415
 吉田 容工 Eメール katunori_yosida@ybb.ne.jp
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446
 森 良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

安倍内閣閣僚政党助成金ためこみ2400万

選挙のバラも税金

安倍晋三首相と17人の閣僚が、2012年に3億円を超す政党助成金を受け取り、2400万円も使い残し、ため込んでいたことが27日公表された。同年の政党交付金使途等報告書でわかりました。国民には消費税増税を押し付けようとするなか、税金を「私物化」していることに批判が高まるのは必至です。

本紙の調べによると、公明党の太田昭宏国土交通相を除いて、安倍首相と自民党の17閣僚は年間800万〜1925万円の政党助成金を自民党本部から受け取っています。総額3億300万円にのびります。

安倍首相と各閣僚は、人件費や伝事業費などに、この国民の税金を使っています。首相と10人の閣僚の計11人が計2408万1725円の政党助成金を使い残し、「基金」にためこんでいます。うち、100万円以上、使い残したのは、首相の694万円、石原伸晃環境・原子力防災相の607万円など5人です。(表参照)

政党助成金は余ったら国庫に返納するのが原則ですが、「基金」に積み立てることができると返納されることはほとんどありません。

一方、昨年12月の総選挙で「選挙関係費」として、本人あてに450万円、500万円と

いった多額の「寄付」をしていたのは、首相はじめ9人の閣僚。総額6571万円になります。

うち、稲田朋美行政改革担当相は1100万円、古屋圭司国家公安委員長は1021万円、茂木敏充経済産業相は1000万円など。受け取った政党助成金のほぼ半分を自分あてに支出していたことになり、本人あての支出は、その後、何に使ったかは問われず、不明です。

このほか、下村博文文部科学相は、「自由民主個人版」の印刷代に73万5000円、電話調査代に21万円を支出、小野寺五典(いつのり)防衛相は、「いっちゃんクラブ通信」という政策パンフレットの印刷代に58万8000円を支出していました。

総選挙のとき、のバラやパンフレットが税金でつくられていたことになりました。

2013年9月29日(日)

政党助成金を100万円以上、使い残した閣僚

安倍晋三首相	694万6249円
石原伸晃環境・原子力防災相	607万8592円
森雅子少子化・男女参画相	399万4033円
岸田文雄外相	375万1360円
菅義偉官房長官	237万3930円

政党助成金
12年分報告書
自民・民主
湯水のように使う

総務省は27日、2012年分の政党助成金の使途報告書を公表しました。

同年に政党助成金を受け取った民主、自民、公明、みんな、社民、国民新、太陽の党、新党きづな、新党日本、新党改革、新党大地11党の支出総額は305億4020万円で11年に比べ44.6%増。総選挙が行われたこともあり、選挙関係費と伝事業費は支出総額全体の31.7%を占め、国民の税金が選挙で湯水のように使われたことが浮き彫りになりました。

選挙関係費と伝事業費で自民党は、計51億376万円を支出。民主党の36億8096万円、みんなの党の4億4686万円などを大きく上回り、交付11党で最多でした。同党は政党助成金で選挙の供託金に19億9800万円、身内企業の世論調査会社「日本情報調査」への調査費として2億5195万円を使っています。

残しても返納せず

政党名	支出額	基金残高
民主党	129億3680万円	155億2412万円
自民党	119億6262万円	9億9418万円
公明党	21億8701万円	10億7568万円
みんなの党	13億7276万円	4億3237万円
社民党	8億3493万円	3億1261万円
国民新党	5億9852万円	3320万円
新党きづな	1億9028万円	0円
太陽の党	1億5832万円	7267万円
新党日本	9602万円	8838万円
新党改革	1億1817万円	2956万円
新党大地	8472万円	3059万円
合計	305億4020万円	185億9340万円

1000円以下は切り捨て。政党名現在解散している
 日本共産党 政党助成金は廃止を主張し、うけとらず。

民主党は、衆院候補の公認料として264人に500万円ずつ計13億2000万円を支出していました。

一方、使い残した政党助成金を国庫に返納せずに10党がためこんだ基金残高の総額は185億9340万円(前年比8.2%増)。民主党は155億2412万円で、同党が政党助成金を受け取り始めた1996年からの最高額を更新しました。

すでに解散した政党もためこんでおり、昨年11月に日本維新の会に合流した太陽の党(同年12月解散)の基金残高7267万円は日本維新の会が受け取ることになりました。新党日本、新党大地は昨年12月に解散届を総務省に提出しているにもかかわらず、「基金」の名でためこんでいます。

12年に11党が受け取った政党助成金の総額は319億8255万円。95年の制度実施から2013年7月までに各党が山分けした総額は5836億円のほっています。これらの政党は政党助成金も企業・団体献金も受け取る「二重取り」を続けています。

共産党受け取らず

日本共産党は、企業・団体献金も政党助成金も受け取らず、党費と個人献金、「しんぶん赤旗」発行などの事業収入といった浄財に依拠する清潔な姿勢を貫いています。

2013年9月28日(土)

日本共産党発行

しんぶん赤旗

日刊●月3,400円
日曜版●月800円

川西こすもす号

流石に十月ですね。夏場の暑い空気から完全に入れ替わった感じが有りませうもんね。先週辺りからは、どこでも「涼しなりましたなあ」が、挨拶になって来ましたもんね。読書、スポーツ、食欲、行楽等々、何にでもたとえられる秋の始まりです。皆さんにとっての秋はどう言う表現がぴったりと来ますか。私は冬が待ち遠しいので、準備の秋ですかね。

今、町内の地域交通について、その利便性の向上を目的に全世帯十五歳以上の方全員を対象にアンケートが実施されています。現行の「こすもす号」ですが、昨年の十一月から走り出しまして、十ヶ月と少々を経過しま

した。利用実績は毎月膨らんで、当初の月四〇〇人が直近の八月では、八〇〇人と倍の利用に進展しています。利用者の声は、何方も「ええ事してくらはった」と、大変喜んでおられました。取り組みを求めて来た者としても喜ばしい限りです。

この取り組み、今後どう言う方向に進めるのかが問われますが、移動手段を欠いた皆さんの利便向上が目的ですので、現行のバス方式とは別の、私が提唱し続けている乗り合いタクシー方式の検証にも手をつけるよう求め、よりよい地位交通の確保策を探して頑張ります。

川西町議会

議員

芝 和也



東小学校運動会

先日、好天の下、東小学校の運動会に来賓として、午前中だけでしたが、観覧させていただきました。

今年のスローガンは「優勝目指して全力出すのは今でしょ!」でした。校長先生からも「最後まで力を抜かず、全力で頑張ること」という話がありました。

しかし、午前中最大の取組み「綱引き」は、あっけなく勝負がつかしました。「ねぎせーたまいれ名人」でも「大仏さんのつまようじ」でも大差がつかま

り出すのは、なかなか難しいですね。

私は、今年も、「みんなであつなごう」でドッジ

ボールをラケットに乗せて運びました。「パイレーツオブ借り人ン!?!」では「めがねをかけた人」で一等賞。「かごいっぱいになあれ」では、二個の白玉を入れることができました。一・二年生の「にんじゃでござる」では、子ども達が楽しそうな笑顔ときびきびとした踊りに引き込まれました。幼稚園児の「なかよし音頭」のばちさばきに感心

しました。なによりも、踊りの輪を何とかつなげようとする先生たちの頑張りに「さすが!」と感動しました。

田原本議会

議員

吉田容工



消費税のからくり

今、安倍首相は消費税を、来年4月から8%に上げる事にやっきになっていますが、「この不景気な時期に・・・」と圧倒的な国民が反対しています。

8%になると五千円の商品を買おうと四百円の消費税がかかります。(安いランチが1回、食べられるかも?庶民感覚?)

ところで皆さん、輸出還付金制度ってご存知ですか?輸出をすればするほど税金が戻ってくるんですって。思わず「じゃえじゃえ!」と叫びたくなりますね。

でも輸出還付金制度というのがあり、トヨタ自動車車の預金口座には毎月百五十億円のお金(税金)が豊田税務署から振り込まれ、2012年4月から13年3月までの1年

間で1801億円も消費税還付金があると推算されています。

そのからくりは、消費税の年間納税額は事業者が「年間売上高×5%」マイナス「年間仕入高×5%」として計算します。

「仕入高×5%」を引く仕組みを「仕入税額控除方式」とい、これを悪用し、輸出売上高にゼロ税率をかけ、答えはゼロ。ゼロから「仕入高×5%」を引く為、マイナス、つまり還付金が発生!どうりで財界は税率引き上げに執着する筈なんですね!

で、苦しくなるのは私たちの生活ばかり。今こそ消費税の増税反対の声をあげましょう!

田原本議会

議員

森 良子



券売機

先日の近鉄交渉で提起した石見駅の券売機の5千円、1万円札が使えないことに対して近鉄からの回答が25日、連絡がりましたので紹介します。担当の仲井課長から電話で「石見駅の券売機の高額紙幣はご指摘の通り現在は高額紙幣は使えないようになっていきます。現状は駅員がいるので両替することができ、無人化になれば対応できないので、その場合券売機に設置している乗車証の発行で乗車して、降りた駅で精算してもらうことになる。降りた駅も無人の場合はインターホンで対応することになる。」という回答です。

池田年夫

回答後、石見駅の券売機を見てみたら、「5千円札、1万円札が使えません」という文言がなくなっており、近鉄の回答通りにあれば文言がないのに使えないという事になります。乗客をどの様

にみているのでしょうか。駅係員を無人化した場合使えるようにするという回答であれば、その期間辛抱しようという事になります。現在も書いていないにもかかわらず使えず、無人化なった場合も使えないのであれば乗客を無視したことになりま

す。怒りの声を上げようではあり

ませんか。

三宅町

池田年夫

